

5 PSCビジョン策定委員会

第2次PSC中期ビジョンを策定する「第1回策定委員会」を、理事・監事、評議員の有志12名で行いました(10月4日16:00～、池下ピアザ)。

今年度は「第1次中期ビジョン」の最終年度。「現状と課題の共有」として、社会の変化についてさまざまな観点から意見交換をした後、ビジョンの検討において、PSCが今後活動対象とする社会課題や役割、事業領域、核となる能力等について捉え直す必要があることを確認しました。本委員会は年度内に3回程度開催する予定です。(下平)

6 「環境NGO・NPOのための講師派遣による組織運営講座」組織運営力強化のためのメンター派遣プログラム

出張サポートがはじまります

組織運営の悩み、困りごとなどの団体の課題について、専属のメンターが専門家と連携し課題解決をサポートする「組織運営力強化のためのメンター派遣プログラム」。出張サポートにより、活動現場で課題解決の支援を行います。

9月～10月にかけて東海三県下の環境NGO・NPOを対象に、サポート希望する団体を募集、選考を経て7団体のサポートを決定しました。会計、労務のほか、協働や活動展開に向けた事業報告書のあり方など、サポートの希望内容から団体運営に対する積極的な姿勢が伝わってきました。11月上旬からいよいよはじまります。(下平)

ご案内 会場投票にもご参加いただけます！

第9回日本パートナーシップ大賞 最終審査・表彰式

2012年12月1日(土) 13:30開会

中京大学名古屋キャンパスO号館(セナビル)6階0603

■ミニ講演会■

第7回パートナーシップ大賞グランプリ受賞その後「協働で学んだこと、そしてこれから・・・」

NPO法人長野サマライズ・センター事務局長 小笠原 恵美子 氏

PSC PICK UP! PICKアップ

募集 【環境NGO・NPO活動推進・組織運営講座】優れた協働事例の分析から“協働実践”へ

12月15日(土)、16日(日)開催:受講生募集中!

さまざまな環境課題を解決していく上で「NPOと企業の協働」は大きな可能性を秘めています。本講座では、日本パートナーシップ大賞における環境分野の入賞事例について担当者から直接話を聞き、参加者が「自ら分析する」ことによって、協働実践のポイントを「自らつかむ」流れになっています。

12月15日(土)・16日(日)の2日間、池下ピアザにて実施します。「NPOと企業の協働」に関心のある環境NGO・NPOの理事・スタッフの方はもちろん、本テーマに関心のある企業・個人の方もぜひご参加ください。詳細は募集チラシまたは当団体HPをご覧ください。

PSC 主な活動2012年9月～10月

- 9/1(土) 市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクトメンバー会議(宮城県)(～2日(日))
- 9/4(火) 定例スタッフミーティング、南部薬品訪問
- 9/5(水) NPO支援センターミーティング
- 9/7(金) 東海ゴム工業ヒアリング、第7回企業&NPO協働アイデアコンテスト書類選考
- 9/8(土) NPO会計税務専門家ネットワークシンポジウム参加、あいちモリコロ基金実績報告会
- 9/10(月) 三井物産訪問
- 9/11(火) 中部圏社会経済研究所来所
- 9/12(水) 中日信用金庫訪問
- 9/13(木) 三井物産にて講演「企業とNPOの協働」
- 9/14(金) パチンコセーフティマイタウン協会支援金贈呈式
- 9/18(火) (株)真誠CSR委員会⑤
- 9/19(水) シェイクアウト訓練
- 9/20(木) カフェアリス運営会議、ESD来所
- 9/25(火) 中小企業団体中央会訪問
- 9/26(水) サラコーポレーション訪問
- 9/28(金) 広報スキルアップセミナー④
- 9/29(土) SAVE JAPANプロジェクト「里山ってどんなところ？」講座②
- 9/30(日) カウンセリング私塾6NPO法人登記記念基調講演参加
- 10/2(火) 定例スタッフミーティング、あいちモリコロ基金募集説明会
- 10/3(水) なごや環境大学
- 10/4(木) ビジョン策定委員会⑤
- 10/5(金) イー・コミュニケーションズ・ESD来所、デンソー・デンソーユニティ打ち合わせ
- 10/6(土) 第5回中部エネルギー市民会議
- 10/9(火) コミュニティ・ユース・バンクmomo来所、第2回地域防災研究会議(小牧市)
- 10/11(木) 南部薬品・太陽電化工業訪問、瀬戸市地域活動支援室訪問
- 10/12(金) (株)真誠CSR研修
- 10/15(月) 愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議 第1作業部会
- 10/16(火) 名古屋市社会福祉協議会来所
- 10/17(水) 第7回企業&NPO協働アイデアコンテスト最終選考会①
- 10/18(木) 愛知県公共事業評価、中部電力訪問
- 10/19(金) 刈谷商工会議所CSR講習(講師③)
- 10/20(土) おうみ未来塾(滋賀県能登川)
- 10/22(月) 市公園管理運営業務委託選定委員会、新しい公共フォーラム分科会実施団体説明会
- 10/23(火) CSR研究会第1回セミナー、カフェアリス運営会議
- 10/24(水) 市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクトメンバー訪問(岩手県)(～26日(金))
- 10/27(土) 第9回日本パートナーシップ大賞第5回運営委員会(第2次予備審査)、SAVE JAPANプロジェクト「月夜の森ハイキング」講座②、フラザー工業セカンドライフセミナー(講師)、ESD全国学びあひフォーラムinあいち・なごや(パネリスト)
- 10/28(日) 第9回日本パートナーシップ大賞2次審査
- 10/30(火) 愛知県公共事業評価監視委員会
- 10/31(水) NPOと企業の協働セミナー(富山県)

募集 企業価値を高めるCSRへ CSR研究会・参加者募集!

この度、「愛知県中小企業振興基本条例」が交付されました。中小企業のCSR推進は社会全体に関わる大切なことです。企業人のみならず、広くNPO、一般の方々の参加をお待ちしております。

2012年	11/27(火)	CSRの基本的なこと～三井物産の事例を参考に～三井物産(株)中部支社 副支社長 山本 隆彦 氏
	12/18(火)	中部圏におけるCSRの方向性とその進め方 公益財団法人中部圏社会経済研究所 代表理事 小林 宏之 氏
2013年	1/22(火)	社会と企業の持続可能性への取り組み (株)リヴァックス 代表取締役 赤澤 健一 氏
	2/19(火)	CSRとサプライチェーン展開 (株)デンソー 経営企画部CSR推進室長 岩原 明彦 氏
	3/19(火)	CSRと広報戦略ー社会の認知抜きには有り得ない (株)オルタナ 代表取締役社長 森 摂 氏

※テーマが変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

事務局だより

長く続いた暑さもようやく終わり、いよいよ秋本番ですね。みなさまの秋の楽しみはどんなことですか？

PSCでは「学びの秋(!)」をぜひ満喫していただきたく、この秋さまざまな講座やイベントを予定しています。また今秋からの新企画「ワンデイセミナー」では、「池下ピアザ」(PSC事務所併設の教室)を利用して気軽にセミナー等を行っていただけます。「講師をやってみよう！」という方はこの機会をぜひご活用ください(詳細は当団体HPをご覧ください)。(松橋)

PSC Report 8

パートナーシップ・サポートセンター

Vol.86

発行 特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
〒464-0067 名古屋市中区池下1丁目11番21号
サンコート池下4F
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
URL <http://www.psc.or.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/psc.npo>
E-Mail info@psc.or.jp 発行人・岸田真代

CSR研究会第1回セミナー 「企業価値を高めるCSRへ」開催!

PSCでは、企業と社会がともに発展・成長できるCSRをめざし、CSR研究会を立ち上げました。その第1回セミナーを10月23日に開催し、中小企業や支援団体の関係者ら52名が参加しました。

第1部では、10月に愛知県が施行した「中小企業振興基本条例」について愛知県産業労働部の金田学氏が解説しました。

「この条例の特徴としては、都道府県条例で初めて中小企業に地域貢献の義務を課したということ。中小企業が商売だけでなく、従業員の仕事と生活の調和や地域貢献に取り組むことが、中小企業の体質強化、経営拡大・発展に役立つと信じている。それに足るような支援をさせていただきたい」と話し、中小企業に対する期待を強調しました。

第2部では、「小さな企業のCSR」で注目を集めるオフィス用品販売会社、(株)カスタネット(本社京都市)の植木力社長が登場。「社会貢献の中にビジネスを走らせる、ここが大切なポイント。社会貢献と会社の事業がシンクロする姿を追求している」と話し、カンボジアの小学校への新校舎寄贈や授産施設・障害者施設への軽作業の発注などの活動経験を語りました。参加者からは、「CSRの意義を再確認できた」「ユニークな視点による社会貢献の話で理解しやすかった」と好評でした。PSCでは2013年3月までに全6回のCSR研究会セミナーを開催する予定です。※詳しくは4ページをご覧ください。(江坂)

「市民・行政・企業の協働による地域防災」に関する実証研究事業

企業・市民・行政が一体となった地域防災を目指して... 『地域防災研究会議』がスタート!!

(公財)中部圏社会経済研究所主催・PSC 企画の「地域防災研究会議」が、小牧市を舞台にスタートしました。

この事業は、東日本大震災の教訓・東南海トラフの被害想定予測を受け、小牧市に拠点を置く主要企業 4 社が結集し、防災の所轄担当、市民代表を交えた会議体として、地域防災において企業がどのような役割を担うのか、それぞれの立場で意見交換し、合意点を見出そうというのが狙いです。

10月9日(火)に開催された第2回では、事業継続マネジメント(BCM)の第一人者である名古屋工業大学大学院教授・渡辺研司氏が、いざという時に企業・行政が協力できるための地域防災論を展開。企業・市民・行政の代表者が、地域防災での役割について取り決めをしてはどうかと切り出すなど、地域防災研究会議にふさわしい活発な議論が交され、合意に向け一歩前進しました。

第1回は8月30日(木)に開催され、レスキューストックヤード常務理事・浦野愛氏が、災害現場における企業の対応の事例などを紹介。防災のエキスパートならではの生きた情報に、企業担当者も真剣な面持ちで聞き入っていました。そして、事前準備段階での訓練の必要性など、平常時からの心構えがいかに重要かをあらためて確認する会議となりました。(成瀬)

「第9回日本パートナーシップ大賞」最終審査へ進む6事業が決定!!

10月27日(土)、28日(日)の両日、第9回日本パートナーシップ大賞二次審査を行いました。33件の応募事業の中から、第一次審査を通過した10事業について、約1か月半をかけ現地調査を実施しました。これらの調査結果をもとに、厳正なる審査が行われ、最終審査に進む6事業が決まりました。最終審査では、6事業の最終プレゼンテーションを公開で行い、グランプリと各賞が決まります。会場投票にもご参加いただけます。

12月1日(土)は、皆さまぜひ中京大学へ足をお運びください。(水野)

最終審査へ進む6事業

- HSBC 子ども支援プロジェクト事業
- 広島県東部海域里海保全事業
- ニートの就職を支援「ホンキの就職」事業
- まごコスメプロジェクト事業
- 空と土プロジェクト事業
- こどもの急な病気のりきり方冊子販売事業

12/1(土) 最終審査&表彰式

1

第7回企業&NPO 協働アイデアコンテスト

最優秀賞は「若者就労支援施設「おもちゃ箱のレストラン」(仮称)新設協働プロジェクト」!!
昨年に続き、長野県塩尻市のNPOが獲得!



日本パートナーシップ大賞に来ていただき、協働の先進事例を知っていただくの考えによるものです。

あいにくの冷たい雨となりましたが、会場では書類審査を通過した5団体による熱戦が繰り広げられました。長野県塩尻市よりエントリーの『若者就労支援施設「おもちゃ箱のレストラン」(仮称)新設協働プロジェクト』を提案したNPO法人ジョイフルが最優秀賞となりました。松本平広域公園



10月17日(水)名古屋栄ビル12階にて「第7回企業&NPO協働アイデアコンテスト」が行われました。例年より2ヵ月ほど早い開催に至ったのは、参加者のみなさんに12月の

内にてレストランを新設し、ニート等、就労・職場定着に問題のある若者の就労トレーニングを実施するというアイデア。昨年に引き続き、塩尻からは3団体目の最優秀賞です。

最終選考会への出場が決まってから、5団体のみなさんからはアイデアを伝えるにはどうしたらいいかと相談を受け、どんどん膨らむ熱い想いが独りよがりにならないよう、何度もアイデアを練り直し、プレゼンに挑んでもらいました。その甲斐あって会場へ「協働したい」という熱意が伝わるプレゼンとなりました。

審査の間に行った東海ゴム工業社会貢献推進室長の戸成氏による「なぜ企業はNPOと協働するのか!」は、企業の本音で具体的な内容をお話いただき(別項参照)、NPO・企業どちらの参加者からもとても参考になったとの感想を多数いただきました。

審査発表は交流会で。停電するなどのハプニングもありましたが、終始和やかな雰囲気の中、NPO、企業、行政など、垣根を越えた交流となりました。(山崎)



▲交流会も魅力のひとつ(松橋)

審査員講評 PSC代表岸田眞代より

第7回目となる今回はアイデアがわかりやすく、すんなり内容が入ってきました。どこが1位になってもおかしくないプレゼンでした。なごや外来種を考える会の野中さんが、「11回練習してきました」とおっしゃいましたが、おそらく他の団体さんもきちんと準備されたであろうと感じました。PSCからのアドバイスも功を奏し、どの団体もわかりやすかったこともあり、ご自分の興味のある分野に投票された方が多かったのかもしれません。最優秀賞のジョイフルさんは、実現性が高く、協働相手も具体的に提示されたことが高評価につながりました。

ミニ講演 「なぜNPOと協働するのか! ~寄付型から参画・協働型へ~」

東海ゴム工業株式会社 社会貢献推進室長 戸成司朗氏

従来企業は地域からスポンサーとして期待されてきましたが、最近では「企業市民」として単なる寄付者でなく、「地域の一人」として一緒に行動することが求められ、NPOと協働することが増えてきています。「企業のCSR活動=社会の還元・慈善活動」ではありません。企業のCSR活動は社会的投資です。社会課題解決と共に企業価値の向上、具体的には感謝状をもらう、新聞で紹介されるなどで、従業員も自分の会社が評価され誇りに思える事です。

社会的課題を解決するとき、企業は「課題の分野はわかっても具体的な課題がわからない場合」が圧倒的に多いのです。そこでNPOとの出会いが重要になってきます。参画・協働型のCSR活動を行う企業のリソースとしては、資金・設備・マネジメントする人材はあるが、課題に対する専門の人材・ノウハウ・ネットワークはもっていないことが多い。だから、ここを補ってくれるNPOと協働したいと考えます。

企業がNPOに期待することは提案力、実現力、協調性。独りよがりにはだめです。そのほか、企業のイメージ向上に寄与するか、事業ドメインとの関連性はあるか、リソース活用・従業員の参加は可能か、などです。第7回パートナーシップ大賞に入賞した協働事例「ビューティーキャラバン」はNPOや大学との四者協働で介護施設の非日常を演出するものでした。

企業にとってのCSR経営向上が求められ、企業戦略の中でも重要な課題となってきています。志を同じとするNPOの活躍を期待しています。



2

【SAVE JAPANプロジェクト】 なごや東山の森「里山」にでかけよう!

「こんなに豊かな自然があるとは知らなかった!」 身近な里山を満喫体験!

“なごや東山の森「里山」にでかけよう!”がスタート。講師はなごや東山の森づくりの会のメンバー、参加対象は小学生とその保護者。

第1回「里山ってどんなところ?」(9月29日(土))では、まず里山についてのお話を聞き、その後近くの池でザリガニ釣り、午後からは里山の中で虫捕りを行いました。参加者からは「身近なところにこんなに豊かな自然があるとは知らなかった!」「ザリガニ釣りも虫捕りも楽しく、よい経験になった」という感想が多く出されました。

第2回「月夜の森ハイキング」(10月27日(土))では、めったに体験できない秋の夜の森をたずね、生きもの達の声に耳を澄ましなが、都心に残された自然の豊かさを学びました。

大人も子どもも一緒になって、身近な自然の大切さを学んだ2日間でした。参加者は、第1回は30名、第2回は31名。



▲大人も子どももザリガニ釣りに夢中(松橋)

4

NPOのための広報スキルアップセミナー

「テクニックよりも『考え方』が勉強になった」……自団体を客観的に見るワークが大好評!

定員を大幅に上回る62名の参加があった「広報スキルアップセミナー」(9月28日(金)開催。会場:㈱電通中部支社)。講師が電通のクリエイターということもあり、参加者の皆さんは「プロのテクニック」に関心があったようですが、講師に「誰に、何を、伝えたいですか」と問いかかれ、皆さんははっとした様子。講義やワークを通じて「自団体の思いや問題意識を、どうすれば相手に共有してもらえるか」をまずは各自で整理。参加団体の広報物を事例に、「プロ」の目線から表現のコツ、工夫の凝らし方などを学びました。「テクニックよりも考え方が重要」「PRの前にまず団体が意見を合わせる事が活動の見直しにつながる」「読む側の立場になって作成することが大切」。みなさんそれぞれに大きな収穫があったようです。(下平)



PSC代表岸田の“東へ西へ”(2012年9月10日)

9月10日は東北に始まり、東北と富山で締めくくったことによる。

9/1(土)~9/2(日)、日本NPOセンターがワールド・ビジョンの委託を受けて実施している「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」のメンター会議で宮城県仙台へ。2日間にわたって、東北3県の、これからのNPOを担う若者やリーダーたちとメンターとの合同会議。100名近くによる2日間の濃い時間の共有となった。

9/5(水)は東京、大阪、四国からNPO支援センターの有志が初めて名古屋に集まったの情報交換。9/7(金)は、東海ゴム工業の第三者評価のためのヒアリングで小牧市へ。同日午後からは「第7回企業&NPO協働アイデアコンテスト」の書類選考のために中部社研で合同会議。9/13(木)は三井物産中部支社にて、山本副社長が企画してくださった私の講演「企業とNPOの協働」が実現。9/24(月)は、オルタナが創刊するCSRmonthlyの連載「中堅・中小企業とCSR」の原稿の締切。9/26(水)には豊橋にサーラを訪問し、CSR推進について提案した。

10/4(木)は来年15周年を迎えるPSCの中期ビジョンを策定するための委員会を開催。厳しい経営の中で多くのご意見をいただくことができた。10/5(金)には東京からイー・コミュニケーションズが来所。検定についての意見交換。10/9(火)は小牧市における第2回地域防災研究会議の開催(1面参照)。

3

刈谷商工会議所主催 セミナー「CSR活動推進の “とっておき”の情報お伝えします」

CSR活動推進の“とっておき”の情報 SHDを新しい経営戦略の構築に活かす

SHD(ステークホルダー・ダイアログ)を企業の経営戦略の構築にどのように活かすか。刈谷商工会議所工業第一会主催によるセミナーが、岸田代表を講師に、10月19日(金)



の午後実施されました。地元企業のデンソー、アイシンをはじめとした大企業のCSR担当や中小企業の経営に携わっている方々など16名が参加。前半はNPOと企業の協働事例を紹介することでその有効性を確認し、後半はSHDの実施によるCSRの推進によって企業がNPOと協働を進めることができることを明らかにしました。

参加者からは「今後の企業活動の中でNPOとの関わりを意識しながら模索したい」などの意見を頂きました。今後、この地域での活動をさらに活発に行なっていきます。(阿部)

■その他の受賞団体

優秀賞 なごや外来種を考える会(愛知県名古屋市)

「守れ!ナデシコちゃん」

日本古来の「カワラナデシコ」の種子の生産や分布調査などを企業と協働で行う。COP10愛知目標の実現を目指す。

特別賞 ママのホンネ研究所(愛知県名古屋市)

「つながりカフェ」でご近所力アップ!~地域と多世代の顔の見える関係作り~

子連れでも気兼ねなく入れる「カフェ」をコンサルティング。つながりづくり・「まち」の活性化につなげる。

奨励賞 平日くらぶ(長野県諏訪市)

僕らのフリースタイルラーニング(多様な学び場)

日中に使われていない学習塾で、不登校の子もたちや、その親(保護者)の居場所をつくる。

奨励賞 すぐろく研究所(愛知県春日井市)

中高生のまちづくり活動アイデアコンペ実施事業

中高生によるまちづくり活動のアイデアを集め、具体策として練り上げる機会をつくる。



▲岩手最後の訪問地宮古にて(「くらしのサポーターズ」のみなさんと)